

令和3年度第1回 伊賀市ごみ減量・リサイクル等推進委員会

日 時：令和4年2月17日（木）午前10時～

場 所：さくらリサイクルセンター大会議室

出席者：委員15人中14人

小竹委員長、樋口副委員長、松永委員、中井委員、山内委員、稲森委員、菊本委員、
藤岡委員、川口委員、藤森委員、辻委員、藤原委員、森田委員、山下委員

事務局：澤田人権生活環境部長、上島人権生活環境部長、南人権生活環境部廃棄物対策監
廃棄物対策課 喜多田副参事、吉岡主幹、西尾主任

<議事概要>

定刻になりましたので、令和3年度第1回伊賀市ごみ減量・リサイクル等推進委員会を開催させていただきます。本日は寒い中またご多用の中、またコロナ禍にもかかわらずご参集いただいた事に感謝申し上げます。

当委員会の委員長の小竹です。よろしくお願ひします。

本委員会は、伊賀市自治基本条例第7条第1項と伊賀市情報公開条例第23条の規定によって会議は公開であることと、伊賀市審議会の会議の公開に関する要綱第8条の規定による会議録を作成するため、録音をさせていただきますことを了承願ひします。

（資料確認）

1. 委嘱状交付

交代された4名の委員に対して委嘱状交付。任期は令和4年10月31日までとさせていただきます。

2. あいさつ

澤田人権生活環境部長

本日は令和3年度第1回伊賀市ごみ減量・リサイクル等推進委員会にご出席をいただき誠にありがとうございます。委員の皆様には日ごろから様々な立場から一般廃棄物の減量に向けた取り組みにお力添えいただき、心から感謝申し上げます。

伊賀市におけるごみ処理をはじめとする環境施策の動きですが、昨年度から環境基本計画の策定を進めており、SDGsの考えを取り入れ地球環境、自然環境、生活環境、資源環境の分野ごとに基本目標を定めてまいります。資源循環の観点から、ごみ減量化の推進、リサイクルの推進、ごみ適正処理の推進などを基本施策として位置づける予定です。次に具体的な動きとして、本年4月から祝日のごみ収集を開始します。必要な条例改正や収集カレンダーの作成を進めています。

また、ごみ袋の形状についても検討していきます。括りやすく持ちやすいものに変えていきます。

ごみ広域化処理について、樋口教授を委員長として答申いただいた。伊賀市における廃棄物処理のあり方検討における答申のゴールです。現在、伊賀市、名張市の事務レベルの協議をしていますが、併せて伊賀南部地域においては、新聞報道等でもありましたように、昨年12月、青山ホールにおきまして青山地域全体の説明会を開催しました。加えて1月に入り関係する区・自治会への説明を行っており、操業延長についてご協議をいただいております。ご理解いただけるものと考えています。ついては、伊賀北部ごみ処理の中間処理施設としての期限と、伊賀南部クリーンセンターの処理期限が合致してきます。ごみ処理広域化に向けた取り組みをさらに進めたいと思います。

コロナ禍のため、前回会議から約1年が経過しました。昨年度のごみ処理の現状やごみ減少に向けた来年度の取組等をご協議よろしく申し上げます。

3. 委員紹介

委員名簿順に自己紹介

4. 事務局職員紹介

自己紹介

5. 所属別担当業務について

資料1に基づき事務局から説明

6. 伊賀市ごみ減量・リサイクル等推進委員会の概要について

資料2に基づき事務局から説明（質疑応答）

なし

7. 清掃事業の概要

資料3に基づき事務局から説明

（質疑応答）

（委員）不法投棄の回収について、市道であれば市が回収する。県道であれば県、河川敷であれば建設省であり窓口がある。地域で不法投棄があった場合、連絡の窓口を一本化してほしい。

（事務局）検討させていただきたい。市廃棄物対策課に連絡いただければ、現地確認の上、県等の担当に連絡している。

（委員）河川敷に盗難投棄があり駐在所に行ったが、警察は盗難届が出ていなかったのでも県に行ってほしいとのことであった。投棄された自転車を再度河川敷に持っていき、県の担当者と話をしたが、本件で2日間かかった。窓口を一般化してほしい。

（委員長）道路で鹿やイノシシが死んでいる場面に遭遇する。まずは県道か市道か私有地かによって対応が変わってくる。

8. さくらリサイクルセンター、ストックヤード、不燃物処理場、伊賀南部クリーンセンター

資料に基づき事務局から説明

（質疑応答）

なし

9. 浄化センター

資料に基づき事務局から説明

（質疑応答）

なし

10. 資源・ごみ収集カレンダー、さくらリサイクルセンターの開場日

資料4に基づき事務局から説明

（質疑応答）

（委員）周知方法は広報だけで良いのか。広報は見ると思うが字が細かいため、A4程度でチラシを作って回覧できないのか。丁寧にしないと混乱しかねないと思う。定着すれば良いが初年度だけは丁寧にしてはどうか。

（事務局）様々な媒体を通じて周知すると共に、回覧等も検討する。

（委員長）変更箇所等載せたダイジェスト版はできないか。

（事務局）各自治協は広報を出していますか。自治協を通しての周知も検討する。

10. 伊賀市指定ごみ袋について

ごみ袋については平成26年10月に料金を変更し7年が経過した。この間、消費税率の引き上げがあったが、ごみ袋の料金の変更はなかった。この間、ごみ排出量はほぼ横ばいで、目立って減少していない。可燃ごみの料金水準の引き上げが、ごみの排出抑制につながるという結果が出ており、ごみの減量化につながる。受益者負担の観点から、ごみ処理・収集経費の2割程度と言われていますが、高額になることから近隣自治体とのバランスなども考慮して料金の見直し検討を進めていきたいと考えている。

(委員) 料金引き上げはいつ頃を予定しているのか。

(事務局) 本年度、同様の会議を開催して協議いただいた後、来年度から始めたいと考えている。

(委員) ごみ袋の在庫はどの程度あるのか。以前、青山で残ったゴミ袋をボランティアのゴミ収集用に使っている。何年か経っても未だに使っている。伊賀北部で使っているゴミ袋は使い切ってしまうのか。

(事務局) 新しいごみ袋を作っても在庫分も併売するように考えている。

(委員) 新しいごみ袋を優先的に買うのではないか。同じ値段であれば古いものが残ってしまう。

(事務局) 新しいごみ袋は値上げし、在庫がなくなるようにしたいと考えている。

(事務局) 四角い従来型からレジ袋タイプへの形状変更を検討しているが、原油価格の上昇によって製造単価が上がっているため、金額の値上げを検討したい。

(委員長) ごみ袋の料金を次年度から引き上げたいと話があった。上げ幅については、ある程度納得いただけるエビデンスが必要だと思う。

(委員) 料金値上げの計画はあると思うが、市民の努力によってごみ減量ができれば値上げせずに済むといった目標はないのか。

(事務局) 基本的にはごみ処理経費にかかる2割程度が受益者負担と考えている。現在のごみ処理金額は15億程度であり受益者負担は3億程度になる。現在、ごみ減量袋売上、ごみ処理手数料などの収入額は1億8千万円程であり到底届かない。少しでも金額を近づけるため値上げをしたいと考えている。

(委員) 給与所得が上がらないのにごみ袋値上げをするのは心配である。原油価格の高騰はあるが、苦情があると思う。

(事務局) ごみ袋を値上げすることによって、排出量を減らすことができる。きちんと分別をすれば可燃ごみ排出が減る。

(委員) 値上げによりごみ排出量を減らすのが目的か。

(事務局) そうです。

(委員) 2023年4月からか。

(事務局) 検討中である。

(委員) それを契機として2022年度も排出量を減らす取り組みを提起しても良いのではないか。

(事務局) そのあたりも含めて周知したい。

(事務局) 値上げ時期については、来年度中になる可能性もある。金額等について会議に諮りたい。

(副委員長) どのように進めるのか詳細については事務局に聞きたいと思っている。一般のごみ処理の有料化については説明が合ったとおり、財政面より排出量を減らすことである。料金に慣れてくると減量効果が薄れてくるため、事務局として検討されている。また、ゴミ袋には種

類があるので、より小さいタイプに誘導する料金体系にする工夫もあると思う。主な減量効果は料金であるため、長く続けていると慣れてくる。値上げだけがゴールではないが、何かしらの考えがあっても良いと思う。事務局から考えを聞きながら、私も一緒に検討したい。

(委員長) 慎重に検討する必要がある。

その他

(委員) ペットボトルの回収について、集積場に置くカゴのようなものは市指定のものか。

(事務局) 市から渡しているものである。

(委員) 夏場になってくると2倍の量になる。入りきらない場合は各自が透明のビニール袋に入れて回収してもらっている。追加で注文できるのか。

(事務局) 注文できる。

(委員) 助成対象になっているのか。料金はいくらか。

(事務局) 市に申請してもらったらお渡しする。支給する。

(委員) 地区に必要な数を聴き取りして申請してよいか。

(事務局) はい。

(委員) 金属ごみの日に集積場に行ったら、堺ナンバーの軽トラ、上野地区のごみ収集らしき軽トラが停まっていて、集積場に入って自分の気に入った金属だけを持ち帰るような素振りであった。厳しく注意したらそのまま持ち去ってしまった。帰って妻に話をしたら、見かけることはあるが怖いので挨拶するのみのようであった。こうした行為が増えてきても困るし、集積場の美化に努めているのに気に入ったものだけ持ち帰る行為を今回で3回は目撃しているが、地区でも発生している可能性があり、抑止力としてダミーのカメラをつけるなど対策をしているのか。それとも区長が1時間程度見張っているのか。みなさんの地区での状況を聞きたい。自治協や地区の会議で要望があれば推進委員として考える必要が出てくると思うので参考に聞きたい。7時に鍵を開け、8時に当番が占めるまでの間で回収されるので、7時10分から15分頃に取りに来ることが多い。その時間はスクールバスを使う子どもたちも多いので防犯上に問題があると思う。

(委員) 私は阿山である。以前は来ていたが、回収した金属の値段が下がった。最近、アルミや金属の値段が上がったため、その日をめがけて戻ってきた。

(委員) 不法に持ち去る業者は法律で規制される。例えばスマホで写真を撮って訴えることはできるのか。当地域は名阪国道が近いので乗ったら分からなくなる。軽トラにコンパネで柵をして来る。

(委員) 私は上之庄地区である。今日、軽トラとロングホイールのトラックを見かけた。回収時間は7時から8時であるため、8時になったら帰る。おかしいなと思いながら今日、会議に出席した。

(事務局) そういった状況があれば、ナンバーを控えてあれば、市から警察に通報し、パトロールに巡回してもらえる。市としてもパトロールに回るので連絡をいただきたい。昨年も金属の持ち去り事件が1件発生し、警察に捕まえてもらった。今年に入って金属の価格が上がっているため、増えてきている様に思うので連絡がほしい。

(委員) 会議に出席するようになり、毎日排出されるごみをできるだけ少なくしよう、ごみを分別しようという取り組みを、地域で互いに確認し合いながら少しずつでもしたいと思っている。

ペットボトルについて、家庭から出る場合は水で洗って出すようにしている。ボランティア活動で路上に落ちているゴミを回収するペットボトルの中には綺麗でないものもある。綺麗にしないとイケないのか。

(事務局) 汚れたものであれば可燃ごみとして出すようお願いしている。

(委員) 地域のボランティア活動で回収する場合は綺麗にしているが、個人の慈善事業でしている場合は汚れたまま出されている。綺麗にすることが原則であれば、お伝えしようと思う。

(委員) 冬場だと毛糸のセーターが出るが、化繊類は布類ではなく硬質プラスチックに出すほうが良いと思うが、どちらが良いのか。

(事務局) セーターは服類になるので布類になる。

(委員) 靴下も布類か。

(事務局) はい。

(委員) パンストも布類か。

(事務局) 下着になるので燃えるゴミになる。

(委員) ごみ分別ガイドブックについて、細かく書き込んだものをそろそろ出してはどうか。4～5年経つのではないか。

(事務局) 来年度に改訂したいと考えている。

(委員) 部長の冒頭あいさつで、伊賀南部クリーンセンターが10年延長すると言われた。ゴミ処理の広域化との関連について構想を教えてほしい。

(事務局) 伊賀市のごみ処理においては伊賀北部、伊賀南部に分かれている。先生に答申いただいた中でも、さくらリサイクルセンターの操業期限を延長していただいて2034年3月、伊賀南部クリーンセンターがあと2年で15年の期限を迎え、タイミングが合っていないことが指摘された。伊賀南部環境衛生組合もその時期を考慮し、操業期限を10年延長してさくらリサイクルセンターとの期限統一を目指している。事務局段階では令和元年度から協議を進めているが、両市が合意書を交わして組織を作る等については、名張市長選挙が終わってからになると思う。具体的にはそれがスタートとなるので、来年度の早い時期にそれが明らかになると思う。地域の了解を得てからになるが、操業期限が揃ったら目指していく。おそらく6月議会頃に報告しながら公式に発表させていただけると思う。

(委員長) 多くの意見や質問を出していただいた。先ほどボランティアのみなさんが地域のためにペットボトルを集めていることを聞いた。委員会としては地域への啓発として、こうした活動を届けるのが委員としての仕事ではないかと思う。

(委員長) 全ての協議を終えたので、第1回委員会を終了します。ご協力いただきありがとうございました。